

法学部

授業科目名	平和学		
担当教員名	竹内 雅俊 (タケウチ マサシ)		
区分	専門教育科目	単位数	4単位
学期区分	通年	担当形態	単独

<教職のみ>

科目	
教員の免許取得のための	
施行規則に定める科目区分又は事項等	

授業の到達目標及びディプロマポリシーとの関係	<p>【授業の到達目標（学習教育目標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平和研究（平和学）にかかわる基本的な用語と考え方を身につける。 ・ ニュースや日常生活のなかで「平和でない状態」を認識する。 ・ 国家および非国家主体（NGO、国際機構など）が「平和でない状態」にどのように取り組んでいるかを理解する。 ・ 共生などの理念を念頭に置き、自分なりに社会を考察し、意見を述べられるようになる。 <p>【身につく就業力】</p> <p>異文化の理解、異文化の理解、課題解決力</p> <p>【ディプロマポリシーとの関係】</p> <p>平和学の基本的かつ体系的な知識を身につけることで、人権感覚の育成と共生意識の確立に寄与します。</p>		
授業の概要	この講義の作業は、2つに分かれる。1つは、現代における平和でない状況（戦争、テロ、難民問題）を検討し、その構造や原因を考えることである。いま1つは、「平和」を実現するための諸条件と国際社会の取組を検討することにある。以上を通じて、この講義は、社会の中で多種多様な人間が尊厳を失わずに共生できる可能性を模索する。		
学生が達成すべき行動目標			
事前・事後学習	リアクションペーパーを各回の終わりに書いてもらいます。また、事前に動画（QRコードでレジюмеに提示）を見てもらうことがあります。		
授業計画	授業計画・学習内容		
	前期		
	1	イントロダクション	事前にシラバスを熟読してくる
	2	学問としての平和学の系譜について	第1回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を読むこと。
	3	正義論と平和	第2回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を読むこと。
	4	戦争と平和1：30年戦争と「国際社会」の誕生	第3回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を読むこと。
	5	戦争と平和2：第1次・第2次世界大戦	第4回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を視聴すること。
	6	文明国標準主義と国際社会1：理論	第5回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を読むこと。
	7	文明国標準主義と国際社会2：事例（IMF条件付き融資）	第6回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を読むこと。
	8	構造的暴力と平和1：理論	第7回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を読むこと。
	9	構造的暴力と平和2：事例研究（「水俣病」の構造）	第8回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を読むこと。
	10	構造的暴力と平和3：事例研究（沖縄と米軍基地）	第9回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を読むこと。
	11	グローバル化と文化多様性1：理論	第10回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を読むこと。
	12	グローバル化と文化多様性2：事例（ミートボール論争を例に）	第11回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を読むこと。
	13	核兵器および他の大量破壊兵器1：核の合法性事件を例に	第12回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を読むこと。
	14	核兵器および他の大量破壊兵器2：日本の立場について	第13回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を読むこと。
15	平和の問題と我々の生活	これまでのレジюмеを復習すること	

		授業計画・学習内容	学習課題（予習・復習等）		
		後期			
	1	イントロダクション	事前にシラバスを熟読してくる		
	2	国境と平和	第1回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を読む		
	3	人間の安全保障について	第2回レジюмеに記載されたQRコードで指定された動画資料を視聴		
	4	子供兵と戦争	第3回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を読む		
	5	国連と安全保障	第4回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を視聴		
	6	国際人道法の基礎	第5回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を読む		
	7	テロと新しい戦争の形態	第6回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を読む		
	8	人道的介入・保護する責任	第7回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を読む		
	9	戦争犯罪と国際裁判所	第8回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を読む		
	10	平和構築の基礎	第9回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を読む		
	11	ジェンダーとマイノリティの人権	第10回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を読む		
	12	難民問題について	第11回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を読む		
	13	環境保全と平和	第12回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を読む		
	14	大学・知識共同体と平和	第13回レジюмеに記載されたQRコードで指定された資料を読む		
	15	再び平和の問題と我々の生活	これまでのレジюмеを復習		
特記項目（履修に必要な予備知識や技術）					
テキスト・参考書・参考資料等		講義は、オリジナルのレジюмеに沿って行われる。各回の参考文献は、適宜紹介します。			
評価					
学生に対する評価		(1) 平常点(出席状況ほか)(30%) (2) リアクションペーパー(20%) (3) 期末試験 (50%)			
指標と評価割合		評価方法			
		試験	レポート 小テスト	発表 質疑応答 体験実践等	※その他
総合評価割合		100			
総合 力 指 標	知識・体験を取り込む力				
	思考・批判・創造する力				
	発表や伝達する力				
	学習に取り組む姿勢や努力				
※「その他」の評価 (5点以内)					
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法		質問やご意見、感想、フィードバックなどについては、メールにて受け付けます。			